



にぎわい東北

— つなげよう、ふるさとのチカラ



2021年3月1日
イオン株式会社

～10年の歩みを、10年先の未来へ～ 「東北から始まる日本のふるさとづくりシンポジウム」開催



東日本大震災の発生から10年。復興・創生に向けた10年間のプロジェクトとして2012年3月に発足した「イオン 心をつなぐプロジェクト」は、地域の皆さまとともに進めてきた数々の活動を、途切れることなく未来へつないでいくために、今後、こういった姿を目指していくべきかについて、次代を担う地域の高校生と考えるシンポジウムをオンラインで開催しました。

「10年の歩みを、10年先の未来へ」をコンセプトに、地域の皆さまへイオンの東北復興活動の報告をさせていただいた後、京都大学 ころの未来研究センターの広井 良典 教授をお招きし「人口減少・ポストコロナ社会のデザイン 東日本大震災とコロナ禍を超えて」についてご講義をいただきました。最後に、岩手県、宮城県、福島県の高校生たちが「東北から全国につながるわたしたちの礎（いしずえ）」をテーマにパネルディスカッションを行い、高校生が感じている地域の課題と、その課題解決に向けた自分たちの取り組み、活動の中で得た学びを共有しました。そして、この経験をどう未来につなげていくかを全員で考え、偏見や風評をなくすためには、相手を知り、しっかりと話を聞いて、“思考をとめない”という決意表明をしました。

本シンポジウムは2022年2月末まで下記URLよりアーカイブ視聴が可能です。

<https://youtu.be/aaiJU-5RTTU>



イオンは、今後も東北の新たな復興のステージに向けたさらなる加速を支援するとともに、次代を担う若者をはじめとする地域の皆さまと手を携えて、一日も早い真の復興・創生に寄与してまいります。

以上

シンポジウム プログラム

< 第一部 >

- ◇ 東日本大震災復興支援活動の謝辞
イオン(株) 東北代表 家坂有朋
- ◇ 地域の未来とそれを担う次世代へのメッセージ
釜石市 市長 野田 武則 様、石巻市 市長 亀山 紘 様、広野町 町長 遠藤 智 様
- ◇ 復興支援活動の報告
イオン(株) 環境・社会貢献部 部長 鈴木 隆博

< 第二部 >

- ◇ 基調講演
テーマ : 人口減少・ポストコロナ社会のデザイン～ 東日本大震災とコロナ禍を超えて ～
登壇者 : 京都大学 教授 ころの未来研究センター 広井 良典 様
- ◇ パネルディスカッション
復興に取り組む高校生が「東北から全国につなげるわたしたちの礎 (いしずえ)」をテーマに、自身の経験や思いを共有し、未来に向けた具体的な行動を考えます。

参加高校 : 大槌高校(岩手県)、石巻市の高校生(宮城県)、ふたば未来学園(福島県)
ファシリテーター : NPO法人 遠野まごころネット 常務理事 多田 一彦 様
- ◇ 高校生が考える未来への一筆
- ◇ 閉会の挨拶
イオン東北(株) 代表取締役社長 辻 雅信